



三原中だより

令和4年度 第7号
発行 令和4年11月15日
八丈町立三原中学校



『友達について』



副校長 石橋 弘毅

いささか暑すぎる日差しの下、去る10月23日（日）に、第7回三原大運動会を実施することができました。改めまして、ご参観と準備・片付けへのご協力に、心より感謝いたします。天候面では恵まれましたが、新型コロナウイルスの感染拡大や、当日未明の降雨による校庭不良により、内容を一部変更せざるをえなかったことが残念でした。来年度こそは、コロナに対応した新しい生活様式の中で、できる限りコロナ禍前の三原大運動会に近づけていければと願っています。

運動会等の学校行事を含め、学校生活を送る上で大きな影響があるのが、友達の存在です。中学校段階は、思春期の急激な心身の成長に伴い友達の在り方も変化していく時期となります。本校では、各学年の道徳の授業を、担任だけではなく学年所属の教員全員で行っています。先日、3年生で友達を題材にした授業がありましたが、職員室でも『友達』って何なんだろう。」ということが話題となりました。

道徳科の学習指導要領では、項目「友情、信頼」の内容は、次のようになっています。学年が上がるにつれて、深い心のつながりが重要になっていきます。

【小学校1年生、2年生】友達と仲よくし、助け合うこと。

【小学校3年生、4年生】友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。

【小学校5年生、6年生】友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。

【中学生】友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

私も、中学・高校時代を思い出しながら、改めて友達について考えました。私にとって友達とは、「自分の居場所をつくってくれる人」、「その人のために何かしたいと思う人」です。そして、英語のことわざにも、**A friend in need is a friend indeed.** [必要な時にそばにいる友達こそが本当の友達] というものがありますが、「苦しいときに一緒にいてくれる人」です。そのような「友達」をつくるには、自分も相手にとって同様の存在にならなければなりません。友達は、自分を鏡で見ているようなものだと言えます。

先述した学習指導要領にある【中学生】の内容よりも、大人の友達関係には、さらに深い心のつながりが必要となるのでしょうか。大人になって友達と疎遠になってしまうのは、自分磨きが足りないのかもしれません。戒めとしたいものです。本校の生徒たちが、かけがえのない友達をもち、誰かにとってかけがえのない友達となっていってほしいと思います。

〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人

○たくましい人

○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

三原中学校ホームページ

<http://www.hachijomachi-tyky.ed.jp/mihara-jhs/>



三原大運動会

10月23日（日）に第7回三原大運動会が行われました。「一笑懸命」というスローガンを掲げ、練習を積み重ねてきた児童・生徒たち。悪天候等による準備不足の心配もありましたが、運動会当日はスローガンどおり、「一笑懸命」な姿を随所に見ることができました。

保護者、地域の皆様には準備から片付けまで、たくさんのご協力をいただき、そして、最後まで児童・生徒にたくさんの声援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

【保健体育科】

生徒の感想（キャリアパスポートより）

- ・ 応援やダンスを通して、小学生と仲が深まったように感じる。欠席者が多いこともあって、競技の変更や練習と違ったことがあったけれど、それにも対応して役割を果たすことができた。
- ・ 小中学生全員で力を合わせ、楽しい運動会になった。今後も多くの人と力を合わせて物事に取り組んでいきたい。
- ・ たくさんの仕事をやることで、大変さと楽しさを知ることができた。これからも「誰かがやる仕事」を積極的にやっていこうと思う。
- ・ 人をまとめながら自分も頑張らなければいけない場面は、これからもたくさんあると思うので、そのような場面で運動会の経験を思い出して頑張りたい。
- ・ 苦手なことだらけでも、その物事に対して全力で取り組む。そして、精一杯やって楽しむ。楽しいと自然と笑顔になる。



職業講話

10月15日（土）に本校2階ホールにて職業講話を行いました。

今年度は、東京諸島リビングサービス株式会社代表取締役の持丸沙代子様に、「みんなのひみつ基地」や「おうちカフェなないろ」を設立した経緯や八丈島の課題についてお話いただきました。

生徒たちの感想には、「私は『子どもたちのやりたい仕事が八丈島にある未来を。』という言葉がとても胸にささって、故郷を大切にしたいと強く思いました。」「働くことは必ずだれかの役に立っていて、1人では生きていけないこの社会の助け合いの一番の象徴だと思います。社会を支えることを分担して、よりよい社会をつくることに仕事の意義があるのかなと思いました。」などと書かれていて、講話を通して、生徒自身の仕事への考えや八丈島への思いが深められたのではないかと感じました。

【進路学習担当】



後期生徒総会



10月28日（金）の6時間目に生徒総会が行われました。9月に生徒会本部役員、中央委員のメンバーが1、2年生中心に替わってから行われた最初の生徒総会でした。各委員会の年間計画の作成から議案書の討議、その後の中央委員会まで、若干の戸惑いやぎこちなさもありましたが、それぞれに試行錯誤しながら少しずつ改善していく姿が見られました。生徒総会では、1年生から3年生まで活発に質問や意見が出され、充実した後期生徒総会となりました。生徒たちの力でより良い三原中学校へ変えていってください。

【生徒会担当】



避難訓練（煙体験）

11月4日（金）火災を想定した煙体験を行いました。

用務員室に煙を充満させ、その中に生徒全員が2人1組になって入りました。用務員室の前で順番待ちをしていた生徒は、部屋から漏れ出ている煙を見て驚いていました。中に入った生徒は、「何も見えなかった!」、

「においがきつくて、ハンカチで口を押さえても耐えられない…。」「本当の火災現場だったら、どうなっちゃうの?」と、口々に感想を言い合っていました。今回の体験から、火災の怖さや煙の中での行動の仕方を学ぶことができました。また八丈町消防本部の方からお話していただき、生徒たちが真剣に話を聞いていた姿が印象的でした。

【安全指導担当】



心の教育



11月9日（水）6校時に、全校道徳を行いました。テーマは「他者との関わり」です。

まず、自分のことを見つめ、「不安感覚」、「自立感覚」のどちらに当てはまるかを考えました。どちらの感覚も、相手のことを考えているように見えて、自分に矢印が向いている事実が付き、「本当の意味で相手を見る（理解する）とは？」を考えていきました。学年をミックスした班で、お互いに他己紹介を行いました。その際に、本人や関わりのある人たちにインタビューをして、その人のことを知ったり、自分の中にある具体的なエピソードを整理したりして、30秒程度でお互いのことを紹介しました。誰にでも、本当の意味で相手を見ることが難しい場面があります。勝手な自己解釈で自分のことを苦しめるのではなく、相手のことを見て、実際に接したり話したりしながら、関わりあっていきましょう。

【授業者】



〈12月の主な行事予定〉

日	月	火	水	木	金	土
11月27日 スピーキングテスト (3年 八丈高校) 中之郷庁祭り	28日 移動教室始 (2年)	29日	30日 SC (6校時時程) 移動教室終(2年)	1日 (5校時時程) 避難訓練 研修会	2日	3日
4日 P連卓球大会	5日 朝礼 安全指導	6日 SC 三者面談始	7日 TOKYO GLOBAL GATEWAY VR体験(2年) 職員会議 社協学習教室	8日 三根小学校人権尊 重教育推進校発表 (給食後下校)	9日	10日
11日	12日	13日 三者面談終	14日 SC 社協学習教室	15日 小学生部活体験	16日 小学生部活体験	17日
18日 スピーキングテスト 予備日	19日 朝礼 情報モラル教育	20日 SC	21日 職員会議 社協学習教室	22日 大掃除	23日 終業式	24日 末吉庁祭り
25日	26日 冬季休業日始	27日	28日	29日 年末年始閉庁日	30日 年末年始閉庁日	31日 年末年始閉庁日

※**SC**：スクールカウンセラーの勤務日

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談ください。(学校7-0057)

〈学校以外の相談窓口〉

- ☆八丈町教育相談室(2-0591)
- ☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)
- ☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)
- ☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)

